

令和7年度
学校だより

瑞穂

札幌市立稲穂中学校
「全国学調査結果」特別号
令和7年9月1日発行

学校教育目標 知性あふれ 逞しく生き抜く 心豊かな生徒の育成

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「知識及び技能」 言葉の特徴や使い方に関する事項 ◆全国平均とほぼ同程度だがやや下回っている	・漢字の読み書きが正しくできかどうかみる。	・言葉の意味を一つ一つ理解しながら、漢字の成り立ちを考えて理解する。
「思考力、判断力、表現力等」 書くこと、読むこと ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている 読むこと ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	・今後も更に読解力を養うための機会を増やしていく。	・登場人物の心情や情景描写の読み取り、構成の展開を整理しながら読みとく。

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「数と式」 ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	・素数の意味を理解しているかどうかをみる。	・用語の意味を理解する。
「図形」 ◇全国平均とほぼ同程度である	・証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる。 ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。	・証明された事柄からわかる大きさの関係性などを見だし、表現する活動を行う。 ・証明する事柄を予測し、根拠をもって証明する力を身に付ける。
「関数」 ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	・用語の意味や、式とグラフの関係性を理解する。
「データの活用」 △全国平均に比べ上回っている	・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。	・データから傾向を読み取り、これまでに学んだ数学的な用語や表、グラフ等を用いて説明する活動を行う。

△：全国平均に比べ上回っている

◇：全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている

▼：全国平均より下回っている

◆：全国平均とほぼ同程度だがやや下回っている

【中学校理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
「エネルギー」を柱とする領域 ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	電気抵抗に関する知識や実験結果の予想をする力が十分ではない。	目に見えない電流の流れをイメージさせる教材を提示する。また、見通しをもって実験をできるようにする。
「粒子」を柱とする領域 ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	化学実験に使用する精製水について、それを使用する意義を説明する力が十分ではない。	使用する薬品や器具等についての知識を身に付けさせる。また、自分の言葉で十分な説明ができるような記述を意識させる。
「生命」を柱とする領域 ◇全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている	スケッチの目的や、スケッチの技能に関する知識が十分ではない。	一つ一つの観察・実験に関して、その目的やそこからわかることを、普段の授業の中で生徒に意識させる。
「地球」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている	岩石に関する知識及び技能を活用する力が十分ではない。	身に付けた知識や技術が、身の回りの生活のどのようなことに関連したり生かされたりしているのかを日常的に考えさせる。

△: 全国平均に比べ上回っている ◇: 全国平均とほぼ同程度、またはやや上回っている ▼: 全国平均より下回っている
◆: 全国平均とほぼ同程度だがやや下回っている

生徒質問紙による生活や学習に関する調査について

○肯定的な回答の割合が多い、または全国の結果と同程度の質問項目

【生活・行動面】

- 自分にはよいところがある。
- 将来の夢や目標をもっている。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 先生はあなたの良いところを認めてくれる。
- 読書は好きである。
*平日の読書時間、家庭にある本(雑誌等を除く)の冊数も全国平均をかなり上回っている。

【学習面】

- インターネットを使用しての検索などの情報収集、図・グラフなどを作成・使用する整理分析、スライドなどを用いたまとめ発表ができる。
- 学習した内容について、次の学習につなげることができている。
- 学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強をするか(肯定的が多い面・低い面両方有り)。

●肯定的な回答の割合が特に低い質問項目

【生活・行動面】

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- 地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思う。
- 学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

【学習面】

- 1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用して学習していた。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

「自分にはよいところがある」「夢や目標を持っている」など、自己肯定感を高く持っていると推察される解答が多い傾向にありました。読書についても、習慣化している生徒が多く、ご家庭でも読書に向き合いやすい環境にあり、学校と家庭の相乗効果といえると思います。学習については、意欲的に取り組んでいる生徒が多い反面、習慣化していない生徒も多いという結果がでています。またICT機器の授業での活用や総合的な学習の時間での学習活動については、学校としての課題であることが改めて示された形となりました。これらの課題の解決に向け検討を重ね、教育課程や日々の学習活動の改善に生かしていきたいと思っております。